

# 鷺森幼稚園創立80周年

園児・卒園児約1400人が盛大に祝う



鷺森幼稚園（佐々木孝昭園長）が創立八十周年を迎え、昨年十二月十七日に和歌山市民会館大ホールで記念式典を開催した。

記念式典では、

歴代園長や園児、保護者、卒園児など約千四百人が出席し、八十年の歴史を振り返り、盛大に祝った。

記念式典では、佐々木園長が謝辞を述べ、不二川公勝総長が友人からの年賀状に書かれてある、「繰り返しを喜び、繰り返しを恐れつつ」の文言を引用し「八十年の繰り返しの積み重ねにより今日の幼稚園がある。今後もその中で反省しつつ、子どもたちのために、ますます『まことの保育』の充実に努めてほしい」と祝辞を述べた。

続いて開園当時の保育風景などを映像で振り返り、園児たちがこの日のために練習した歌と和太鼓を披露した。

前・戦後を通して一万四百人以上にのぼり、在園児の中には親子二代、三代、四代の世代が通う、歴史ある幼稚園です。

鷺森幼稚園の歴史は古く、大正十四年五月に当時の鷺森別院の輪番桑原賢亮さんと職員の佐々木祐定さん（和歌山組専養寺）が中心となり設立認可を受け、寺院境内の建物で、浄土真宗のみ教えを基盤に幼稚園教育を行つたのが始まりで、昭和二十年七月九日の和歌山大空襲で寺院・園舎等を焼失し、一時休園を余儀なくされますが、昭和二十五年三月に再建された寺院の本堂を仮保育室として幼稚園を再開。順次園舎施設を整備して

現在に至つており、卒園児は戦

発行 和歌山教区基幹運動推進委員会  
編集 和歌山市鷺森1番地  
鷺森別院内  
電話 和歌山(073)422-4677  
FAX 和歌山(073)428-2450  
発行人 佐々木 孝昭

各組、各寺院で開催された行事や活動等、教区報に掲載して欲しいというものがあれば、どしどし教区報編集委員会まで寄稿ください。また、事前にご連絡いただければ、取材に伺います。

—掲載記事を募集します—

今から六十年前の話です。夏は夏で汗びっしょりになつても、湯船につかって「ああ極楽、極楽」と言つて、その後は「ナンマンダブツ」を繰り返していました。今みたいに冷暖房の行き渡つていない時代です。

湯船につかり、その後に「ナンマンダブツ」を繰り返していました。  
忙しく気ぜわしい今の世の中ですが、昔の人は「ホッ」とした時間を持っていた、いや味わつていたように思います。

冬の寒い夜、風呂に入るたびに「ああ極楽、極楽」と言つて

「ああ極楽、極楽」と言つて、その実感の中で「ナンマンダブツ」が口に出たのだと思います。あの頃は何かにつけて「極楽」という言葉もありました。木々を吹きぬけて来る風にあたると「ああありがたい、極楽の余り風や」とあり

の頃は今みたいな豊かな暮らしとは言えなかつたと思いますが「ホッ」とした時間があり、安らぎを感じ、生きる喜びの中で

忙しく気ぜわしい今の世の中と実感を込めて言い、それと一緒に「ナンマンダブツ」とお念佛が出たのだと思います。

その時のお念佛を世の人は「フロ念佛」と申しました。その頃は今みたいな豊かな暮らしとは言えなかつたと思いますが「ホッ」とした時間があり、安らぎを感じ、生きる喜びの中で

寒い冬に風呂に入つて体のシンから温もつた時「ああ極楽、極楽」と極楽を実感し、夏の汗を流した時「ああ極楽、極楽」と実感を込めて言い、それと一緒に「ナンマンダブツ」とお念佛が出たのだと思います。

## 鷺森テレホン

紙上法話

伊藤 孝文

(和歌山教区 本願寺派布教使)

がたがつたものです。

今は冷暖房が行き渡り、家庭

風呂の時代になり「フロ念佛」

だの「極楽の余り風」は聞かれなくなりました。極楽という言葉は消えて、交通地獄、受験地獄など地獄という言葉がしきりに目につきます。

風呂の湯もクーラーの風も昔

と今も変わりません。いや昔よ

りもいい湯だし気持ちよい風に

なつていて、「ああいい湯だな」とか「極楽、極楽」の声も聞かれ

ます。風呂に入った時は一番ホッ

これは本願寺のスローガンで

す。風呂に入った時は一番ホッ

する時だと思います。「ああ極

楽、極楽」「ナンマンダブツ」

とお念佛の声を家庭から発信しませんか。

## ああ極楽、極楽

### 鷺森テレホン 話

24時間いつでもどこからでも3分間法話が聞けます。

(法話は毎月一日・十五日に変わります)

**073-422-0243**

おにしさん



## お寺の雑学

### 「須彌壇に唐獅子牡丹が!?」

みなさんのお寺の「須彌壇」をよくみてください。ほらつあつたでしょ。別院には五匹いました。でも、なんでこんなところに唐獅子牡丹がいるのでしょうか。獅子というのは百獸の王です。獅子をやつつけようとい

## 気になる一冊

御再興のことば  
—蓮如上人御一代記聞書を味わう—  
満井秀城著 本願寺出版社刊 800円



『蓮如上人御一代記聞書』は、蓮如上人や上人をめぐる人々の法語や行動などを記録したものですね。本書はこの『聞書』の一節をとりあげ、その御文に対する著者の「味わい」を平易に説かれたものです。『本願寺新報』で連載されていた記事がまとめられ、このたび美しい装幀の一冊となり上梓しました。

お釈迦様、親鸞聖人をめぐるエピソードや著者自身の体験などを通して『聞書』の御文のこ

うものはいません。つまり外には敵がないのですね。でもね、獅子は身中の虫によつて滅んでしまうのです。そこで、虫をやつけるには牡丹を食べるのがよいそうです。牡丹は虫下しといふ訳ですね。つまり、唐獅子と牡丹の組み合わせは、外に敵なし内にも無敵、怖いものなしと言うことになります。如来様

もまた内外に敵はいないし、また、滅ぶことがない。ということで須彌壇に唐獅子牡丹がいると考えられます。人間も万物の靈長なんていつてますけど、煩惱という身中の虫をかかえているのですから、お念佛という牡丹をしつかり味わつていないとどうたんですね。えつみんな知つてたの。へエ。

## 在家免物の紹介

ご本尊「いちょう」・「きく」  
「いちょう」(絵像)

冥加金一幅三万円



■「きく」(六字名号)

豎二四・〇 cm  
横一九・〇 cm  
奥九・〇 cm  
冥加金一幅二万円



豎一七・二 cm  
横一〇・三 cm  
奥二・九 cm

※各冥加金の他、送料(二幅まで千五百円)がかかります。

### 申込方法

本山参拝志納部または、教務所までお申込みください。

ろが優しく分かりやすく語られていますので、初めて真宗のご法義に触れる方にもお奨めです。何度も繰り返し読みたくなる、本書はそんな一冊です。

# 教区だより

## 2005年11月

- 1日 近畿仏婦大会（兵庫）
- 4日 スカウト仏教章取得研修会
- 5日 勤式講習会（鷺森別院）
- 7日 仏婦若婦人研修会
- 9日 近畿門推員代表者会議（和歌山）
- 15日 仏婦清掃奉仕
- 17日 対応委員会
- 18日 中央若婦人研修会（本山）
- 18日 スカウト仏教章取得研修会
- 19日 勤式講習会（日高別院）
- 24日 門徒総代会研修会
- 25日 寺婦研修会
- 26日 仏壯研修会
- 27日 仏婦研修会
- 29日 基推委第1・2合同部会
- 29日 冊子委員会
- 30日 常備会

## 12月

- 1日 社推協歳末街頭募金
- 1日 教区相談員中央研修会（京都／2日まで）
- 2日 スカウト仏教章取得研修会
- 3日 勤式講習会（鷺森別院）
- 6日 大阪教区寺族婦人結成40周年記念大会
- 7日 教務所長会（本山）
- 7日 中央基推委常任委員会
- 8日 中央基推委研修会（本山／9日まで）
- 9日 スカウト仏教章取得研修会
- 10日 子ども報恩講
- 10日 近畿仏青連絡協議会（和歌山／11日まで）
- 12日 教区報編集委員会
- 12日 大遠忌法要常任委員会
- 14日 連研のための研究会（日高別院）
- 17日 勤式講習会（日高別院）
- 17日 鶯森幼稚園創立80周年記念大会
- 20日 大遠忌法要委員会
- 20日 組長会
- 22日 門徒推進員連絡協議会
- 22日 冊子委員会
- 26日 基推委企画常任委員会
- 27日 教務所事務納め（9日まで）

## 2006年1月

- 10日 教務所事務初め
- 16日 仏婦清掃奉仕
- 17日 近畿仏婦活動推進協議会（兵庫／18日まで）
- 20日 教区報レイアウト委員会
- 20日 スカウト仏教章取得研修会
- 25日 仏壯理事会
- 26日 第3連区ビハーラ連絡協議会（大阪）
- 27日 教誨師後援会総会
- 27日 保育連盟評議員会
- 27日 第6回和歌山・人権啓発研究集会  
(白浜／28日まで)
- 28日 第3連区近畿ブロック門推員研修協議会  
(和歌山／29日まで)
- 31日 大阪矯正管区支部連絡協議会  
(滋賀／2月1日まで)

## 2月

- 6日 同朋養成研修（本山／8日まで）
- 7日 如月忌
- 9日 冊子委員会
- 13日 ビハーラ講座
- 15日 第1回教化推進研修会
- 17日 教区報編集委員会
- 17日 仏婦委員会
- 18日 御坊組ご消息披露・記念法座
- 20日 ビハーラ潮光園訪問
- 22日 僧侶研修会
- 24日 近畿ブロック仏青スキーツアー（長野／26日まで）
- 25日 少年連盟日校修了者別院参拝
- 25日 近畿ブロック仏壯連絡協議会（奈良／26日まで）
- 27日 近同推会員研修会（本山）

## 3月

- 2日 第2回教化推進研修会
- 6日 近畿組長・議長会（和歌山／7日まで）
- 9日 門総・仏婦念佛奉仕団（本山／10日まで）
- 10日 第3連区職員研修会（大阪）
- 13日 講社近畿ブロック講員研修会  
(和歌山／14日まで)
- 16日 責役・門総辞令伝達式
- 25日 ビハーラ・社推協公開講座

## 鷺森別院

【常例法座】 毎月十五・十六日

二月

平山智正師

（備後教区）

三月

松田義量師

（兵庫教区）

四月

三明芳信師

（奈良教区）

春季彼岸会

三月二十日

午後一時半より

村岡顕城師

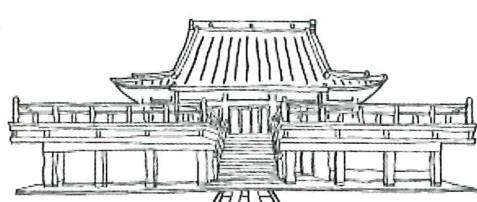
（滋賀教区）

三月二十一日

午後一時半より

## 別院だより

日高別院  
〔常例法座〕  
春季彼岸会・日高郡御坊市  
戦傷病没者追悼法要  
三月二十日 午後一時半より  
桐山六字師（日高別院輪番）



## 教区若婦人研修会

—若婦人が青少年問題について学ぶ—

昨年十一月七日鷺森別院において、仏教婦人会連盟「仏教若婦人の集い・若婦人研修会」が開催された。教区内若婦人（五十才迄）百二十人が参加した。

講師は園田久子先生（福岡県人権研究所理事・下関市立大学・北九州産業大学講師）で『いのち豊かにうつなぐ・つながるいとなみ』と題し、昨今問題とされる青少年問題、特に青少年犯罪・いのち・部落差別・人権問題を基軸に考えて、自らの偏見



## 「子どもの報恩講」 75人が楽しく集う

和歌山教区少年連盟では、昨年十二月十日に、「第十七回子どもの集い 子どもの報恩講」を本願寺鷺森別院において開催し、教区内から、七十五人の児童らが参加した。子どもによる正信偈のお勤めにはじまり、同連盟が主催する「子ども絵画展・書道展」の表彰式や、本願寺仏教音楽・儀礼研究所の花月真さん、馬淵紀久子さんによる仏教讃歌の歌唱指

見やとらわれを問いか、あらゆる差別への正しい認識や、人権感覚を身につけ、今後、私たちが何を問題にしていかなければならぬのかを学んだ。

参加者らは、ともにつながつているいのちの尊さに気づかせていくだけ実り多い研修会となつた。



導、ゲームが行われ、昼食にはカレーライスがふるまわれた。

## 歳末助け合い街頭募金

—みなさまの善意に感謝—

昨年十二月一日、和歌山教区社会福祉推進協議会和歌山教区支部の呼びかけで、教区内寺院

住職、門信徒が参加し毎年恒例の歳末助け合い街頭募金が、JR

和歌山駅前、南海和歌山市駅前で実施され、十五万三百三十八円の募金が集められた。この募金は、毎日新聞大阪社会事業団

（歳末助け合い運動）に依託され、社会福祉活動に役立てられる。ご協力いただきましたみなさまに感謝申しあげます。



## チャリティーバザー開催

社会福祉推進協議会和歌山教区支部では、昨年十一月二十七日に本願寺鷺森別院報恩講勤修にあわせてチャリティーバザーを開催。十一万九千百四十円の売上は、敬老の日のお祝い等の事業に役立てられます。

出品いただいたご寺院さま、ご門徒さま、またご協力いただいた皆さまに厚く御礼申しあげます。

## 如月忌のご案内



九條武子様

二月七日は仏教婦人会の礎を築いてくださった九條武子様の如月忌。毎年本山では全国から多くの仏教婦人会会員の参拝のもと、法要が営られます。

九條武子様は一八八七(明治三十一年)大谷光尊様(三十一代明如上人)、大谷藤子様のご息女としてご誕生し、一九〇四(明治三十七年)、大谷壽子裏方をたすけ仏教婦人会を創立。爾来、真宗婦人会を率いて、各種事業に力を尽され、裏方様の寂後は裏方様の意志を受け継ぎ、仏教婦人会連合本部長として数多くの事業に携わり、各地を巡回されました。一九二八年(昭和三年)一月、永年の奉仕活動の過労から発病し、同年二月七日にご往生されました(四十二才)。

※詳細は教務所(担当小山)までお問い合わせください。

思い出づくり  
「日校修了者別院参拝」  
参加者を募集

日程  
講歌指導 十四時  
法要 十四時十五分  
記念講演 十四時五〇分  
接待 十五時三〇分  
終了 十六時三〇分

日時 二月七日(火)  
会場 本願寺總御堂  
記受付 十三時

以後二月七日を「如月忌」として、そのご遺徳を偲び毎年法要が勤修されています。  
今年も勤修されますので、お誘い合わせてご参拝ください。

その後二月七日を「如月忌」として、そのご遺徳を偲び毎年法要が勤修されています。

●2月15日・3月2日  
教化推進研修会  
少年教化を重点に  
研修会を開催

近畿ブロック仏教青年連盟でSnow Camp in 志賀高原 参加者募集!

教区基幹運動推進委員会では、現在宗門においても大きな課題となっている青少年教化活動への取り組みの一つとして、教区少年連盟と連携し、教化推進研修会を二回にわけて鷺森別院において開催いたします。

宗教離れ、人口の過疎過密化等の現代社会において寺院の抱える問題は山積していますが、そんな中で、私たちにできることは何かを、教化活動の推進という視点から考えてみましょう。

期日 二月二十四日(金) 二十六日(日)  
会場 志賀高原一の瀬スキーフィールド  
※詳細は教務所(担当小山)まで  
お誘い合わせてご参加ください。



藤下 悅子 和歌山組 西法寺  
古河 潤晋 和歌山組 専念寺  
稻垣 裕己 海草組 蓮乗寺  
教師

得度

池見イサヘ 海草組 法照寺

古河 潤晋 和歌山組 専念寺  
稻垣 裕己 海草組 蓮乗寺  
教師

逝去

平成十七年十二月六日  
午後二時から

講師 山之内浩乗さん  
(新潟教区)

■第一回目の研修会  
日時 二月十五日(水)  
午後七時から  
講師 平山智正さん(備後教区)

■第二回目の研修会  
日時 三月二日(木)  
午後二時から  
講師 山之内浩乗さん  
(新潟教区)

お誘い合わせてご参加ください。  
※詳細は教務所(担当小山)まで

お誘い合わせてご参加ください。  
ご生前のご活躍・ご尽力に感謝申し上げ、謹んで敬弔の意を表します。